

国際司法裁判所「ロシアは軍事行動を即時停止せよ」法的拘束力はあるものの

3月17日 5時21分

国際司法裁判所は16日、ロシアに対してウクライナに対する軍事侵攻を即時停止するよう命じました。

ウクライナ政府は先月、ロシアが軍事侵攻の理由としてウクライナで「ジェノサイド=大量虐殺」が起きている、と主張していることを受け「事実無根だ」としてロシアを国際司法裁判所に提訴。同時に軍事行動の即時停止の暫定措置も求めていました。

ロシアは今月上旬に行われた審理は欠席しましたが、国際司法裁判所は16日、「2月24日にウクライナ領内で始めた軍事行動を直ちに停止せよ」とする暫定措置命令を出しました。命令は「ロシア軍の指揮下にある勢力やロシア政府が支援する勢力」にも当てはまるとしています。

決定には15人の判事のうち、ロシア人の副裁判長と中国人の判事が反対、日本の岩澤判事を含む13人が賛成しました。命令には法的拘束力はあるものの、国際司法裁判所には実際に従わせる手段はないため、ロシアの軍事行動を止めることは実質的には不可能ですが、国際社会からの停戦への圧力はいっそう高まると見られます。